

モンテッソーリ Luce だより

2021年2月
モンテッソーリ Luce タイム担当：中田 秀美



今年度のモンテッソーリ Luce タイムも終了しました。今期は数のお仕事を紹介しました。モンテッソーリの数教育では、具体物を使って実際に行う直接認識が大切にされています。

抽象的な数字から入るのではなく、具体物を使い実際にその量を体感してから、それに対応する数字を知っていくという形をとっています。実際に手を動かし、感覚的に数の大きさを知ることによって楽しみを感じながら学ぶことができるようになっているのです。

お仕事の中でお菓子を分けながらわり算の印象付けを行いました。まだ、よくわからなくても沢山のものを同じ数ずつ分ける経験を実際にするということが大切です。お菓子などを分けるだけでなく日常生活の中で、リンゴなどを切った時に半分を2分の1ということをお教えるなど少しずつ知る機会を与えてあげるといいですね。また、ものを数える経験をすることも量を知ることになるので生活の中で大切にしたいですね。

また記念製作としてアイロンも経験しました。皆とてもよく頑張っておステキな作品が出来ました。

モンテッソーリ Luce タイムでは本当に限られた時間しかなく、モンテッソーリ教育のお仕事の一部しか紹介できませんでしたが、家庭でできるものもたくさんあります。記念製作で行った刺繍やアイロンがけもそのひとつです。今後もモンテッソーリ教育をご家庭でも取り入れていっていただければと思います。一年間本当にありがとうございました。



今月のお仕事紹介

☆紡錘棒箱（つむぼうばこ）

対象年齢：4才～

紡錘棒箱は紡錘棒を数えながら数字の量の差と数字の順序を定着させるお仕事です。また、0の概念にも触れることができるようになっています。みんなも一生懸命手に握りしめながら数えていましたね。

興味点：紡錘棒箱を2箱一緒に使う。紡錘棒の扱い方。0の導入。
直接目的：数字が1つ1つ別のものが集まった量を表すことを知る。
数字の順序を定着させる。0の概念と数字の導入。
間接目的：数字が0～9までしかないことを確認する。



【活動の様子】 《記念製作 アイロンを使ってアップリケ付きの袋づくり》



《♥個性あふれるステキな袋が出来ましたね♥》